

国際保健学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Seto J, Wada T, Suzuki Y, Ikeda T, Mizuta K, Yamamoto T, Ahiko T: *Mycobacterium tuberculosis* transmission among elderly persons, Yamagata Prefecture, Japan, 2009–2015. *Emerg Infect Dis* 23(3): 448-455, 2017 (IF: 8.22)
2. Ito H, Katsumata Y, Hasegawa E, Yoshimura J: The promotion of cooperation by the poor in dynamic chicken games. *Sci Rep* 7: 43377, 2017 (IF: 4.259)
3. Li WT, Chang HW, Pang VF, Wang FI, Liu CH, Chen TY, Guo JC, Wada T, Jeng CR: Mycolactone-producing *Mycobacterium marinum* infection in captive Hong Kong warty newts and pathological evidence of impaired host immune function. *Dis Aquat Organ* 123(3): 239-249, 2017 (IF: 1.549)
4. Seto J, Wada T, Suzuki Y, Ikeda T, Mizuta K, Mitarai S, Ahiko T: Convenient PCR method for variable-number tandem-repeat typing of *Mycobacterium tuberculosis* clinical isolates. *J Microbiol Methods* 139: 12-14, 2017 (IF: 1.79)
5. Yoshida H, Wada T, Taniyama D, Takahashi T: Draft genome sequence of clinical strain TANI1 of *Streptococcus suis* serotype 5 isolated from a bacteremia patient in Japan. *Genome Announc* 5(18): e00260-17, 2017
6. Wada T, Hijikata M, Maeda S, Hang NTL, Thuong PH, Hoang NP, Hung NV, Keicho N: Complete genome sequence of a *Mycobacterium tuberculosis* strain belonging to the East African-Indian family in the Indo-Oceanic lineage, isolated in Hanoi, Vietnam. *Genome Announc* 5(24): e00509-17, 2017
7. Wada T, Hijikata M, Maeda S, Hang NTL, Thuong PH, Hoang NP, Hung NV, Keicho N: Complete genome sequences of three representative *Mycobacterium tuberculosis* Beijing family strains belonging to distinct genotype clusters in Hanoi, Vietnam, during 2007 to 2009. *Genome Announc* 5(27): e00510-17, 2017
8. Sato T, Ohkoshi Y, Wada T, Fukushima Y, Murabayashi H, Takakuwa Y, Nishiyama K, Shiraishi T, Nakajima C, Suzuki Y, Yokota SI: Complete genome sequence of multidrug-resistant *Streptococcus pneumoniae* serotype 19F isolated from an invasive infection in Sapporo, Japan. *Genome Announc* 5(44): e01239-17, 2017

A-e

1. Yoshida S, Matsubara K, Kojima A, Wada T: *Mycobacterium marinum* infection in scheltopusiks (*ophisaurus apodus*). 10th International Meeting of Asian Society of Conservation Medicine (ASCM) Proceedings 59, 2017
2. Ishikawa S, Yoshida S, Wada T, Paudel S, Suga S, Mukai Y: Tuberculosis in a captive Asian elephant: the first treatment in Japan. 10th International Meeting of Asian Society of Conservation Medicine (ASCM) Proceedings 65, 2017
3. Wada T, Yoshida S, Yamamoto K, Yamamoto T, Ishikawa S, Suga S, Mukai Y. Genomic monitoring of clinical strains of *Mycobacterium tuberculosis* isolated from a captive Asian elephant. 10th International Meeting of Asian Society of Conservation Medicine (ASCM) Proceedings 64, 2017

B 邦文

B-a

1. 小堀栄子, 前田祐子, 山本太郎. 日本在住外国人の死亡率: 示唆されたヘルシー・マイグランド効果. 日本公衆衛生雑誌. 64(12): 707-717. 2017.

B-b

1. 和田崇之, 吉田志緒美, 柳井徳磨: ヒト, 動物, 環境をとりまく非結核性 抗酸菌の浸淫状況と宿主適応. 日本臨床微生物学雑誌 27(3): 1-10, 2017

B-c

1. 山本太郎: 帝国書院出版『世界史のしおり』「歴史に学ぶ現代の諸課題-人類が直面する新たな感染症の脅威-」
2. 山本太郎: 附論 5 狩猟採集民・農耕民・文明人における病気と病. (池谷和信: 狩猟採集民からみた地球環境史 自然・隣人・文明との共生, 東京大学出版会, pp.285-296 所収) 2017
3. 山本太郎: 第6章 保健衛生問題から見る SDGs -新たな非感染症疾患としての肥満問題と、処方箋としてのヘルスリテラシー. (蟹江憲史編: 持続可能な開発目標とは何か-2030年へ向けた変革のアジェンダ, ミネルヴァ書房, pp.128-136 所収) 2017
4. 市川智生: 神戸—1899年—. (永島 剛, 市川智生, 飯島 渉 (編): 衛生と近代 ペスト流行にみる東アジアの療治・医療・社会, 法政大学出版局, 東京, pp. 97-126 所収) 2017
5. 山本太郎: 人はなぜ太りやすいのか—肥満の進化生物学. マイケル・L・パワー/ジェイ・シュルキン著 (みすず書房) 2017
6. 山本太郎: 抗生物質と人間—マイクロバイオームの危機. (岩波新書) 2017

B-e

1. 瀬戸順次、和田崇之. 結核菌分子疫学の将来展望. 第90回日本細菌学会総会抄録集. 16, 2017
2. 柳井徳磨、吉田志緒美、和田崇之. アジアにおける One Health に基づいた抗酸菌症のサーベイランスネットワークについて. 第90回日本細菌学会総会抄録集. 24, 2017
3. 田村庄平、中山真彰、藤原永年、和田崇之、山本三郎、小崎弘貴、飯田 征二、大原直也. PDIM/PGL は BCG の胆汁酸に対する抵抗性に関与する. 第90回日本細菌学会総会抄録集. 70, 2017
4. 澤井 宏太郎、菅沼彰太、松尾加代子、大津桂子、野崎恵子、和田崇之、丸山史人、西内由紀子、福士秀人、岩本朋忠、大屋賢司. 東海地方の家畜及び農場内外の環境から分離された非結核性抗酸菌の遺伝子特性. 第90回日本細菌学会総会抄録集. 165, 2017
5. 和田崇之、吉田志緒美、柳井徳磨. 抗酸菌属における病原性とその動物症例. 環境微生物系学会合同大会 2017 シンポジウム抄録集 S-21, 2017
6. 山本香織、和田崇之、小向潤、宇田瑛子、清水直子、松本健二、下内 昭、山本太郎. 大阪市あいりん地域における結核の感染伝播状況 (2006-2015). 第76回日本公衆衛生学会総会抄録集 64(10) 特別付録 572, 2017
7. 市川智生: 軍隊胸膜炎問題にみる戦前日本の成人男性の結核罹患. 第76回日本公衆衛生学会抄録集 572, 2017
8. 市川智生: 長崎大学熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム所蔵フィラリア関係資料の歴史資料としての活用. グローバルヘルス合同大会 (第58回日本熱帯医学会) 53-54, 2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	4	1	3	4

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
山本太郎・教授	審査委員	科学技術振興機構
山本太郎・教授	運営委員	京都大学地域研究総合情報センター
山本太郎・教授	研究事業運営委員	結核研究所
山本太郎・教授	エイズ・感染症対策技術専門員・選考委員	国際協力機構 青年海外協力隊事務局
山本太郎・教授	館外研究員	国立民族学博物館
山本太郎・教授	客員研究員	東京大学医学教育国際協力センター
山本太郎・教授	国際保健検討委員会委員	日本医師会
山本太郎・教授	客員教授	大連医科大学
山本太郎・教授	客員教授	福建医科大学
山本太郎・教授	武見フェロー選考委員	日本医師会
山本太郎・教授	国際緊急援助隊感染症対策チーム公衆衛生部会部会長	国際協力機構
山本太郎・教授	長崎県環境保健研究センター倫理審査委員会委員	長崎県環境保健研究センター
和田崇之・助教	客員研究員	結核研究所
和田崇之 ・准教授	客員研究員	結核研究所
和田崇之 ・准教授	Board member	Asian Society of Conservation Medicine
和田崇之 ・准教授	幹事	日本結核病学会 実験結核研究会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山本太郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤（B）海外学術調査 中国及びネパール高地における適応と肥満、糖尿病とヒト腸内細菌多様性に関する研究
和田崇之 ・准教授	日本学術振興会	代表	基盤（B） 患者地理情報と病原体遺伝子情報を駆使した結核伝播経路追跡
和田崇之 ・准教授	日本学術振興会	代表	基盤（B）海外学術調査 アジア・オセアニアにおける病原性抗酸菌の浸淫度調査
和田崇之 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤（C） 高まん延多剤耐性結核菌株のゲノム解析
和田崇之 ・准教授	日本医療研究開発機構	分担	結核の診断及び治療の強化等に関する革新的な手法の開発に関する研究
和田崇之 ・准教授	感染症研究国際展開戦略プログラム	分担	ベトナムにおける感染症制御研究・開発プロジェクト
和田崇之 ・准教授	人獣共通感染症研究拠点・共同研究	代表	病原性抗酸菌種のゲノム全長解読に基づく分子進化学および分子疫学的解析
和田崇之 ・准教授	かなえ医薬振興財団	代表	野生動物から分離される大腸菌の腸管付着因子はいかにして宿主適応しているのか
市川智生・助教	日本学術振興会	代表	基盤（C） 戦前日本の結核に関する歴史疫学研究—罹患情報に基づく蔓延状況の再現—
市川智生・助教	日本学術振興会	代表	若手（B） 人獣共通感染症としての日本の結核史—歴史学および分子疫学による検証—
市川智生・助教	日本学術振興会	分担	基盤（A） 20世紀日本の長期療養型疾患の歴史—ハンセン病・精神疾患・結核の比較統合的検討
市川智生・助教	日本学術振興会	分担	基盤（B） ドイツ日本関係史料による新しい明治日本理解の構築：外交と国家形成
市川智生・助教	日本学術振興会	分担	基盤（B） 日米医学協力計画（1965～90年）と JICA によるフィリピンへの医療援助
中野政之・助教	日本学術振興会	代表	基盤（C） ピロリ菌 VacA の宿主受容体を基盤とした病原メカニズムの解析

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
和田崇之・准教授	結核菌の型別法	2010.4.14	-	特開 2011-217703

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
山本太郎・教授	非常勤講師（感染症）	新潟大学
山本太郎・教授	非常勤講師（医学研究入門Ⅱ）	順天堂大学

○特筆すべき事項

- ① 山本太郎・教授：USCDC 研修へ JICA より協力派遣。 2017 年 1 月 3 日～1 月 6 日
- ② 山本太郎・教授：外務省主催 The Roundtable Seminar on "Climate Change and Fragility Implications on International Security" において「Climate Change and Infectious Diseases」について講演。2017 年 1 月 19 日
- ③ 山本太郎・教授：外務省主催 G7 気候変動と脆弱性に関する円卓セミナー フォローアップ検討会出席。2017 年 2 月 22 日
- ④ 山本太郎・教授：東京工科大学 2017 年度国語入試問題に、著書「感染症と文明—共生への道」が使用される。2017 年 3 月
- ⑤ 山本太郎・教授：城北埼玉中学平成 29 年度国語入試問題に、当分野山本太郎の著書「感染症と文明—共生への道」が使用される。2017 年 3 月
- ⑥ 山本太郎・教授：中部大学 2017 年度国語入試 問題に岩波書店発行【図書 第 805 号 2016 年 3 月】「人は独りでは生きて行けない—受け継ぐもの、手渡すもの」が使用される。2017 年 3 月
- ⑦ 山本太郎・教授：高校生向けウェブサイト 廣告社 【逆引き大辞典】SDGs 高校生自分ごと化プロジェクトページ内『2.飢餓 をゼロに』『3.すべての人に健康と福祉を』について解説 2017 年 5 月
- ⑧ 山本太郎・教授：「人はなぜ太りやすいのか—肥満の進化生物学」（みすず書房）について HONZ 、読売新聞に掲載。2017 年 8 月
- ⑨ 山本太郎・教授：JICA 国際集団研修コース【UHC 時代の結核検査マネージメント強化—世界的脅威の疾患対策への応用—Quality Laboratory Management for Tuberculosis in UHC —Appried for Global Threatening Disease Control—】（於結核研究所）講義。2017 年 10 月 20 日
- ⑩ 山本太郎・教授：「抗生物質と人間——マイクロバイオームの危機」（岩波新書）について、週刊東洋経済、朝日新聞等に掲載。2017 年 11 月
- ⑪ 山本太郎・教授：日本医師会優功賞受賞 2017 年 11 月 1 日
- ⑫ 山本太郎 教授：共同通信社【きさらぎ会】にて「ヒトは一人では生きていけない」講演。2017 年 11 月 14 日
- ⑬ 和田崇之・准教授：017 年度日本質量分析学会論文賞。 Teramoto K, Suga M, Sato T, Wada T, Yamamoto A, Fujiwara N. Characterization of mycolic acids in total fatty acid methyl ester fractions from Mycobacterium species by high resolution MALDI-TOFMS. Mass Spectrometry. 4(1):A0035.
- ⑭ 和田崇之・准教授：対馬学フォーラム 2017 ジョイントイベント「第 1 回 ASCM アジアヤマネコ保全ワークショップ」英語翻訳、座長
- ⑮ 和田崇之・准教授：第 2 回抗酸菌研究会（2017.11.23-24, 国立感染研）世話人